

2012(平成24)年度

旭丘高校 教育通信

創立
110年
高

第2号

ベーシッククラス特集

安心できる居場所がある
あなたのペースで、あなたに寄り添い、
あなたの未来を創る

旭丘高校ベーシッククラス

食と農—共同炊事に取りくむベーシッククラスの生徒たち

やっぱり、仲間っていいな みんなで学ぶ学校って楽しいな 不登校生徒のみなさんの 新たなスタートを支援します！ 旭丘高校ベーシッククラス

全日制高校教育課程

～普通科30名・総合学科30名の2クラス
(ミックス・ホームルーム) を募集します～



旭丘高校ベーシッククラスの特徴

- ベーシッククラスは30人以下学級の少人数編成（通常学級40人）で、みなさんの安心・安全の学校生活と学びのための居場所づくりに重点をおいています。
- 2年次、3年次に進む際に、通常（一般）クラスに移行することを大きな目標としています。そのためベーシッククラスのカリキュラムは、全日制高等学校の通常のカリキュラムを基にしています。
- ベーシッククラスの独自教科目として、「ことばと交わり」（言語の認識を育てる）、「からだ」（文化としての身体を育てる）、「基礎の数学」（数量の認識を育てる）ー下記カリキュラム表中のピンク色の部分ーを学校認定科目として配置しています。
- ベーシッククラスは他の通常クラスと同様ホーム・ルーム活動を基礎とし、未来の主権者として自立と社会性、進路を拓く「キャリア教育」をとりたてて重視しています。
- ホーム・ルームの集団的活動とともに、みなさんの人間としての発達をサポートする学校教育カウンセラーが配置されています。

Voice

ベーシッククラスの生徒の声

ホーム・ルームのリーダー、班長に挑戦する

1期生女子 ※ホームルーム活動に参加して
高校での学習に不安を持っていた私ですが、高校1年生のとき、苦手だった国語や英語で「単語ビンゴ」など先生が工夫して授業を進めてくれ、自然と学ぶことが楽しくなりました。

生活面では、2年生で班長と旅行委員に挑戦し、秋の修学旅行で普段欠席が多い人も含めてみんなが参加してくれたときには、働きかければそれだけクラスが変わるのだと実感できました。こうした経験を通し、自信がなくなっていたことにも挑戦してみようと行動できる自分になっていったと思います。

班長として人とかかわる活動を通して、不登校を経験した自分だからそ他人の気持ちや悩みが分かる面があると気づいたので、いまは、保育士やカウンセラーになりたいと進路の夢を持ち、課題研究（インターンシップ）も幼稚園を体験先を選び、進路に向けて努力を重ねています。

普通科ベーシッククラス

1年	国語総合	地理 A	数学 I	体育	保健	情報 A	英語 I	基礎の数学		ことば・交わりⅠ	からだⅠ	産業社会と人間	総合 B	ロングホームルーム	
2年	国語表現Ⅱ	世界史 A	日本史	数学Ⅱ	体育	理科総合 A	英語Ⅱ	書道Ⅰ	家庭基礎	総合技術	ことば・交わりⅡ	からだⅡ	キャリアデザイン	総合 B	ロングホームルーム
3年	現代文	現代社会	数学Ⅱ	体育	理科総合 B	芸術選択	進路特別講座	工作	農作	ことば・交わりⅢ	からだⅢ	キャリアデザイン	総合 B	ロングホームルーム	

総合学科ベーシッククラス

1年	国語総合	地理 A	数学 I	体育	保健	情報 A	英語 I	基礎の数学	ことば・交わり I	からだ I	産業社会と人間	総合 B	ロングホームルーム
2年	世界史 A	理科総合 A	日本史	体育	家庭基礎	総合技術	総合選択科目		ことば・交わり II	からだ II	キャリアデザイン	総合 B	ロングホームルーム
3年	現代社会	理科総合 B	体育	芸術選択	総合選択科目		課題研究（インターンシップ）		ことば・交わり III	からだ III	キャリアデザイン	総合 B	ロングホームルーム

※このカリキュラム表は在校生のものです。2013（平成25）年度からは新学習指導要領に基づくカリキュラムとなります。

※「ベーシッククラス」の他に、入学後すぐに一般クラスに在籍して学校生活に再チャレンジする「不登校生徒特別推薦枠」があります。募集枠は、普通科18名、総合学科18名、計36名（男女）です。



新名学園
旭丘高等学校
学校長
水野 浩

学校教育再生の光・「ベーシッククラス」

本校では、中学校・地域社会の要望に応え、長年にわたって不登校の生徒を受け入れて来ました。私たちは、彼・彼女らが3年間の高校生活を通して成長・発達し自分の進路を選択して力強く巣立っていく姿を目のあたりにし、そのたびに水鳥が雄々しく羽ばたく時のような感動を覚えて来ました。

いまこの国の社会はセーフティーネットが崩壊し、人間の関係性が希薄となり、コミュニケーションすらもとに取れていない現実があります。それぞれの具体的な現れ方は違っても、不登校になる子ども・生徒たちは、こうした社会状況の中で最も傷き、現代の高校生が抱える発達上の問題を背負い込んでいる存在であると言えます。そうした生徒たち一人ひとりが目の輝きを取り戻してい

くことは、まさに私たち大人が主導するこの社会と学校教育の再生への問いであり光でもあります。

こうした思いを込め、生徒の全面的発達を保障するという本校の建学の精神と教育目標にそって2010年4月神奈川県知事の認可のもと設置した不登校生徒対象の特別クラス（ベーシッククラス）は、3年目を迎え、来年3月にこのクラスに入学した生徒の卒業生が誕生します。

7月28日（土）から始まる連続10回の体験入学セミナーでは、毎回セミナー講座の時間帯に「不登校生ベーシッククラスの授業と高校生活ーその教育運営の実例ー」の紹介を、ここに学ぶ在校生・生徒及び保護者とベーシックのホーム・ルーム担任と授業担当者、不登校支援プロジェクトの責任者・教頭を交えて実施します。

ベーシッククラスの ホーム・ルーム活動

- いまは登校できず、教室に入れないとしても、「友だちをつくりたい」「人とコミュニケーションをとれる自分になりたい」という願いがすべての高校生たちの共通の要求です。
- こうした願いを出発点に、不登校生ベーシッククラスでもホーム・ルームづくり、リーダー育成や班活動、学級での話し合い、きまりづくりなど、集団生活を通し、時には教育カウンセラーの力を借りて、閉じた身体と心を開き、青年期の発達を保障していきます。



保護者・地域とのネットワーク

- 子どもが不登校になったとき、保護者もまた悩み・苦しみます。不安や焦りがつのり、心ならずも子どもに辛く当たってしまうことも、学校にやりきれない思いを投げかけることもあるでしょう。
- 旭丘高校では、日常的な学級通信の発行やこまめな電話連絡で保護者の方とつながりを深め、年2回の全校規模の懇談会の他、地域ごとに少人数で担任の先生と語り合うミニ懇談会を開いています。
- また、保護者も参加して子どものことをどう見たらよいのか等を学ぶことのできる学校独自の教育研究集会も年3回開催されます。
- ホームルーム担任、学年教師集団の教育指導体制のもと、スクールカウンセラーと保護者との面談システムがあります。

CHECK

「通信制の方法を用いた単位認定制度」によるサポートがあります

もし本校に入学した後も不登校状態になってしまった場合、卒業に必要な76単位のうち35単位までを通信制の方法を用いて単位認定できる「不登校生徒に対する通信制の方法を用いた教育による単位認定制度」があります。（文部科学省より平成23年4月1日付で指定校認可を受けています）

Voice

ベーシッククラスの生徒の声

計算の意味がわかってスッキリ

2期生女子 ※「基礎の数学」授業感想

今まで意味を知らないでやっていたことの意味がわかってスッキリしました。知って良かったなあーと思ったのは5ー（－3）の式を解く意味です。今までなんで「－」が「＋」に変わるのかわからなかったのですが、「○」と「●」の図で書くとうわかりやすかったです。加法や減法についてこれまで自分が見ていた世界を広げることができた気がしました。

「からだ」の授業で生活リズムをつかんだ

1期生女子 ※「からだ」の授業の感想

私は「からだ」の授業を通して、自分の身体への気遣いの大切さを学びました。中学生の間ずっと不登校で、毎日ふとんの中で過ごし、好きな時間に好きなものだけ食べているような感じで、とても疲れやすくなっていました。だけど、この授業を受けるようになって、姿勢のゆがみを意識して改善し、今の自分の生活を見直し、寝る時間や食べ物を改善しました。その結果、心にも落ち着きを取り戻せて、素直な自分を出せるようになりました。

Voice

在校生の保護者の声



- ホーム・ルームの生徒たちのお陰で学校に通うことができるようになりました。本当にありがたいと思っています。
- 自分のことだけでなく、相手のことを考えて行動できるようになった姿勢に驚いています。
- 先生たちや、同じような子どもを抱えている親などと、お互いの悩みを話せることで気持ちが楽になりました。

いきいきと学校生活をエンジョイしていますーベーシッククラスの先輩たちの様子

Voice

これまで入学した生徒のうち、第1期生12名、第2期生15名が一般クラスへ移行、昨年度は、1年生のクラスが体育祭・文化祭へのホーム・ルーム全員参加を達成、2年生のクラスでもほぼ全員で一般クラスとともに修学旅行に参加し、最終日には日直クラス（リーダー・クラス）に立候補しました。来春卒業を迎えるベーシッククラス1期生の進路希望調査では、入学した41名のうち、2・3年次のはじめに一般クラスへ移行した生徒も含めて、13名が大学・短大、12名が専門学校と計25名が上級学校進学者、6名が就職、未定者4名です。この間のサポート校等への進路変更6名。ベーシッククラス1期入学生はそれぞれのキャリア観（将来の職業像）を模索しながら、自らの進路に向けて歩みを進めています。

ANNIVERSARY

学園創立110周年 一地域と歩み、未来を創る 旭丘高校の魅力と特徴 ②

●生徒が主人公の学校

新名学園旭丘高校は「一人ひとりを大切に、全面的に発達した人間の育成を図る」とする建学の精神と教育目標にそい、全学で力を合わせ、地域に支えられて学校づくりを進めて来ました。今年学園創立110周年を迎え、すでに4万人余の卒業生が社会で活躍しています。

「子どもの声から出発する学校づくり」を合い言葉とした全学協議会や全学教育研究集会をはじめとして、生徒・保護者が授業・カリキュラムづくりや学校運営、学習環境整備にも積極的に参加する機会が

保障され、大人たちの広い共同の力が生徒の学びと成長を支えています。



こうしたなかで生徒たちは、生徒会が提起する全校生徒自治集団づくりに向けホームルーム・生徒会・クラブなどの活動を通して自分たちの学校生活を自分たちの手で創造していく自治、学びを深め、かけがえのない自分の存在と可能性を確かめ、進路を拓く力を身につけていきます。

●ベーシッククラス Q & A

Q 旭丘高校のベーシッククラスや不登校生徒特別推薦枠の対象となるのはどのような生徒ですか？

A 本校の生徒募集で対象とする「不登校生徒」とは、何らかの心理的、情緒的、身体的、あるいは社会的要因・背景により、登校しないあるいはしたくともできない（ただし、病気や経済的理由によるものを除く）状況にあり、中学校各学年で欠席日数が30日以上となっている者です。

Q 中学校で学校の試験を受けることができず、成績の資料がない状態なのですが、出願できますか？

A 心配いりません。旭丘高校の入試は推薦入試、一般入試、二期入試が基本形ですが、不登校生徒の場合、それぞれの入試について、オープン入試的な制度を検討しています。特に、不登校生徒を対象とした入試で重視するのが、本校への志望理由です。目当てや目標を持って高校生活をスタートさせることこそ、みなさんが自分たちの可能性を伸ばしていくための最も大切な要素です。体験入学などを通して旭丘高校をよく知り、旭丘での高校生活への抱負をしっかりと表現できるようにしてください。

2013(平成25)年度生

生徒募集!

募集学科

男女共学

普通科(男女) 240名 総合学科(男女) 233名

ベーシッククラス(普通科・総合学科、男女) 60名

- ❖総合学科には大学進学クラスと進路探求クラスがあります。
- ❖総合学科大学進学クラスには給付制奨学金が受けられる特待生制度があります。
- ❖不登校生徒の学びと成長を支援する文部科学省の認可を受けた特別教育課程実施指定校です。
- ※普通科・総合学科ともに、不登校生徒の再チャレンジをサポートする入試制度(不登校生徒を対象とした「ベーシッククラス」と一般クラスへの特別推薦枠)があります。毎回の体験入学でセミナーと並行してベーシッククラスの授業や学校生活を紹介する『特設説明・相談会』を開催しています。

サマーセミナー・学校説明会

【第1回】7月28日土 【第2回】8月25日土

体験入学セミナー・学校説明・相談会

【第3回】9月29日土 【第4回】10月27日土
【第5回】11月10日土 【第6回】11月24日土
【第7回】12月1日土 【第8回】12月8日土
【第9回】1月12日土

文化祭一見学と相談会

【日時】11月17日土 午前10時～午後3時
※自由に見学できます。入試相談コーナーもあります。

第2校地見学・総合学科説明会

【日時】10月14日日 午前9時～12時

いつでも、何でも相談できる「入試相談室」もあります!

土曜日に行なわれる体験入学セミナーの他に、小田原駅から徒歩5分の城内キャンパスに「入試相談室」を常時開設しています。お気軽にご利用ください。



学校法人 新名学園

旭丘高等学校

「ホームページ」 <http://www.niina-gakuen.jp/>

●第1校地 小田原駅から徒歩5分

〒250-0014 神奈川県小田原市城内1番13号
TEL 0465-24-2227 (代) FAX 0465-22-0216

●第2校地 小田原駅からスクールバス15分

〒250-0042 神奈川県小田原市荻窪1980
TEL 0465-21-0660 (代) FAX 0465-21-0680

